

平成28年度第5回理事会議事録

1. 期 日 平成 28 年 12 月 4 日(日)10 時から 15 時 00 分まで

2. 会 場 青森市民病院 3 階大会議室

| 参加者 | 総数 | 参加率% |
|-----|----|------|
| 11 | 15 | 73% |

| | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 船水憲一 | 佐藤兼也 | 森脇公洋 | 福土正広 | 成田将崇 | 石倉牧人 | 川村匡敦 | 西村秀行 |
| ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ |

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 片岡郁美 | 三浦隆司 | 澤橋政美 | 岩瀧昌善 | 須崎勝正 | 小澤友昭 | 大湯和彦 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

| | | |
|----|------|------|
| 監事 | 稲葉孝典 | 工藤亮裕 |
| | ○ | ○ |

船水会長が議長を務め、議事録作成人に成田理事、議事録署名人に須崎理事を指名し、理事会を開催した。

3. 内 容

【報告 1】 統一講習会（八戸、青森、弘前、八戸） （報告 船水、西村） 資料 1

1. 業務拡大に伴う統一講習会（東北地域：青森県/青森労災病院）

平成 28 年 9 月 24 日（土）8：40～9 月 25 日（日）17：20

開催責任者：船水 憲一、会場責任者：澤橋 政美

実習指導者：西村 秀行、小澤 友昭、川原 武、佐々木 忠治

スタッフ：福土 正広、稲葉 孝典、石倉 牧人、鈴木 将志、川村 匡敦

参加者 29 名、欠席、遅刻者、早退者なし。

開始 1 時間 30 分後、静脈注射 2 の講義中、音声途切れ始めたがすぐに回復したため CD-ROM のソースが原因かと思っただが、静脈注射 3 の講義中、完全に音声がかたなくなった。ノート PC 本体からは音声がでていたので、マイクで拾おうとしたが、マイクも不良となっていた。前日入りして、会場設営、音響確認、映像確認していたが、残念な結果となった。幸い、近くにワイヤードのパーソナルスピーカーがあったため、急ぎよ接続し、事なきを得た。その場に講師がいるわけではないので、音声、映像ともバックアップシステムを常に考えるべきと思われた。

2. 業務拡大に伴う統一講習会（東北地域：青森県/青森県立中央病院）

平成 28 年 10 月 8 日（土）8：40～10 月 9 日（日）17：20

開催責任者：西村 秀行、会場責任者：佐藤 兼也

実習指導者：西村 秀行、小澤 友昭、川原 猛、村田 徹

スタッフ：福土 正広、石倉 牧人、鈴木 将志、川村 匡敦

参加者 20 名（静脈注射受講済み 2 名）、欠席、遅刻者、早退者はなかった。

下部消化管の実習時、ダブルバルーン付直腸カテーテルの直腸側と肛門側のバルーンを閉じる順番の質

問があり、岩手県村田実習指導者が以前製造メーカーに確認したところ、明確な回答は無かったということであった。統一講習会指導マニュアルでは安全のため直腸側を先に閉じる説明になっている。また IGRT の実習同様検査終了後おしりはふかないことが再確認された。全体的に大きなトラブルは無かったが、開催場所毎の研修会案内や駐車場案内、昼食案内及び当日の服装（BLS 実習時）またプログラムは受講者の人数によって4の実習・演習時間は短縮になるので人数確定後プログラムを再構築し事前にアナウンスが必要と思われる。

3. 業務拡大に伴う統一講習会（東北地域：青森県・弘前大学医学部付属病院）

平成 28 年 11 月 26 日（土）8：40～11 月 27 日（日）17：20

開催責任者：西村 秀行、会場責任者：須崎 勝正

実習指導者：西村 秀行、小澤 友昭、川又 渉、石倉 牧人、鈴木 将志

スタッフ：福士 正広、成田 将崇

参加者 28 名

【報告 2】 組織体制の確認（報告 船水）資料 2

【報告 3】 血管模型講習会（報告 船水）資料 3

平成 28 年 10 月 1 日（土）9：00～18：00

場 所 つがる総合病院

開催責任者：船水 憲一

講師：田邊 智晴（大阪府立精神医療センター）、松本 一真（兵庫医科大学病院）

青山 周平（兵庫医科大学病院）

参加人数：27 名、内訳（脳血管 9 名、腹部血管 3 名、冠動脈 13 名、脳静脈 2 名）

参加者 27 名、欠席、遅刻者、早退者なし。

開催場所が五所川原だったにもかかわらず、27 名の方に参加していただいた。講師の先生方が、手際よく会場の設営をしてくださった。講習会は、予定通り 9：00 に開催されたが、終了時間は、会場 19 時までで及んだ（会場片付け含む）。模型は全員、完成することができた。開催施設としては、問題なかったと思われたが、開催場所は、やはりアクセスの悪さは、否めないと思われた。情報交換会を 18:30 に設定していたが（参加費 5000 円）、この講習会に関しては、19 時以降に設定しないと難しいようである（会場使用時間にもよるが、可能なら、参加者全員模型を完成したところで終了としたいものである）。

【報告 4】 第 7 回東北放射線医療技術学術大会 実行委員会（報告 船水）資料 4

平成 28 年 11 月 12 日（土）14：00～16：00

場 所 青森市民病院 3 階大会議室

開催責任者：須崎 勝正、船水 憲一

実行委員は、承諾者 37 名、実行委員会出席者 30 名と快く協力していただいた。また、はるばる秋田県からの出席者もおられた。第 7 回東北放射線医療技術学術大会の概要、実行委員の役割、今後のスケジュールの報告を行った。また、実行委員の旅費等は基本的には振り込みとし、各自振り込みの情報とともに、委嘱状、依頼状の宛名、宛先を登録していただくことを確認した。委嘱状は、年末までに郵送する予定である。

【報告 5】 受託講習会 青森乳がん学校 2016（報告 船水）資料 5

平成 28 年 10 月 15 日（土）10：00～18：00

場 所 青森市民病院 3 階大会議室

開催責任者：片岡郁美

講師：・横浜労災病院 乳腺外科部長 千島隆司 先生、・青森市民病院 外科部長 川嶋啓明 先生、
・青森県立保健大学 健康科学部 看護学科人間総合科学 准教授 川内規会 先生
他

スタッフ：堀内浩昭、片岡郁美、川嶋柳子、福土正広 他

参加人数は定員 30 名に対し 33 名だった。乳がんについての知識を、他職種で学ぶことができた。受講生からの感想も同様のものが多い。アンケート結果であるが、参加理由は、向学のためが 70%、参加前の期待度は、55%が非常に大きいであり、参加後の満足度は 74%だった。この講習会の定期的な実施を希望する方は、77%であった。受講募集に関しては、現状の郵便物を希望した方は 65%、残りの 35%が、HP, E メール等を希望していた。

【報告 6】中間監査（監査報告 工藤監事 会計監査 福土）資料 6

【報告 7】業務執行役員業務報告 （報告 森脇）

【報告 8】公益法人監査について（報告 稲葉）

【報告 9】平成 28 年度原子力防災訓練（報告 船水）資料 7

平成 28 年 10 月 24 日（月）15：00～18：00 事前説明会

平成 28 年 10 月 25 日（火）9：00～16：00 訓練実施

場 所：平内町立山村開発センター（稲葉、船水）：むつ市ウェルネスパーク（工藤、森脇）

住民指定箇所検査チームとして、表面汚染検査用サーベイメータによる住民の指定箇所検査を行った。保健所、弘前大学、日本赤十字社（八戸赤十字病院）、東北電力、日本原燃、リサイクル燃料貯蔵、平内町、東通村、県医務薬務課が参加した。

【報告 10】その他

9 月 17 日全国会長会議内容報告資料 8

10 月 21 日 東北地域会長・教育委員会合同会議 報告 資料 9

表彰関係の報告 資料 10

治療研究会 報告 資料 11

全国 X 線撮影技術読影研究会 資料 12

伝助、参加フォームの活用（口座番号、依頼書、委嘱状の宛名、あて先の記入が少ないのでご協力を）
統一講習会キャンセルに関する対応

【検討1】次年度計画に関して

2017年6月17日、18日

公益社団法人青森県診療放射線技師会 学術大会、定時総会、フレッシューズセミナー、リーダー研修会、情報交換会、機器展示、賛助会発表会 弘前大学保健学科、第61, 62, 63講義室

2017年3月4日（土）上部消化管初級講座（青森市）

【検討2】乳がん学校の今後の扱いと運営に関して

【検討3】その他

公印保管検討

技師派遣依頼

RAB から寄付依頼 資料13

技師会医用画像研究

【議案1】入会者について（福土理事）

【議案2】その他

技師会費未納者

以上

本書は議事録に相違ない。

平成28年12月4日

青森市安方二丁目17番15-802号
ライオンズマンション新町通
公益社団法人 青森県診療放射線技師会

議事録作成人 成田将崇

議事録署名人 須崎勝正

代表理事 船水憲一

監事 稲葉孝典

監事 工藤亮裕